

# TOPICS 1 ●リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト 作業療法士学会等に出展し、ソフトの有効性を訴求

「リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト」は、リハビリテーション中の方が作業療法士などと一緒に四輪での運転復帰に向けて運転に対する評価・訓練をサポートするためのソフトである。運転環境の模倣的な再現により、運転操作における手足の複合的動作を行うことができる。

ホンダは普及拡大をめざし、2014年度は福祉機器展への展示と合わせて全国の作業療法士学会、リハ医学学会への出展を行い、機能説明と体験を通じて更なる認知向上と活用効果を確認していただけるよう取り組んでいる。

ソフトの販売委託を担う(株)マネージビジネスと合同での対応として、大学関係者及び作業療法士の方を対象に、有効性を認識していただくことができた。2015年度は認知向上と普及拡大の場を地域の学会へ移行していくとともに、運転復帰に向けたプロセス全体への支援を強化していく予定である。

●2014年度の主な出展先  
・日本リハビリ医学学会  
・静岡県作業療法士学会  
・日本リハビリテーション医学会学術集会  
・日本訪問介護リハ協会

・リハ学会世界大会  
・新潟リハ運転シンポジウム  
・新潟県作業療法士学会  
・北海道作業療法学会

・日本作業療法士会運転部会  
・リハビリテーション・ケア合同研究大会  
・東海北陸作業療法士学会  
・日本高次脳機能障害学会



## 2 ●家族で学ぶHondaの交通安全教室 子どもたちが参加・体験しながら、安全確認など基本行動を身につける

「4歳と5歳のお子さんと「いっしょに学ぼう 道のわたり方」に参加した父親は「以前、この公園にきた時に交通安全教室の開催を知り、千葉県松戸市から

「基本を身につけよう 自転車の乗り方」のコーナーは小学生が対象。自転車が守るべき交通ルールを伝え、自転車に乗りながら基本的な安全確認の動作を身につけた。

「基本を身につけよう 自転車の乗り方」のコーナーは4〜5歳の幼児が対象。Hondaのスタッフが交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編」を使って、道路を横断する際に守ってほしいことを伝えた。その後、子どもたちは公園内に設置されている横断歩道を保護者と一緒に行き、学んだことを実践した。



「いっしょに学ぼう 道のわたり方」では交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編」を使って、基本的な交通ルールを説明。最後に、公園内に設置されている横断歩道を親子で渡ってもらう

やってきました。幼児にもわかりやすい内容で参加して良かったと思います。歩行者は右側通行であることや、歩行者用の青信号が点滅している時は止まるなど、私たち親も交通ルールを再確認できました」と感想を語った。



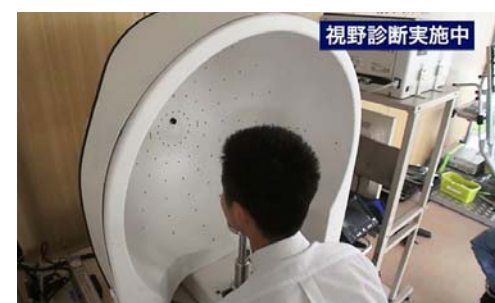
「基本を身につけよう 自転車の乗り方」では、子どもたちが自転車で公園内の指定されたコースを走行し、Hondaのスタッフが安全確認の方法などをアドバイス



ポスターの部・大賞

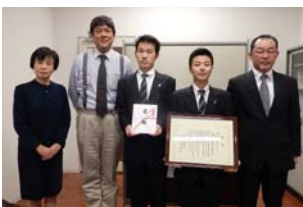


ポスターの部・大賞を受賞した松江さん



動画の部・大賞

## 3 ●交通安全動画・ポスターコンテスト結果発表 動画5作品、ポスター4作品が入賞



動画の部・大賞を受賞した静岡大成高等学校放送部の皆さん

●動画の部  
大賞・静岡県鈴木さん青野さん・溝口さん(静岡大成高等学校放送部グループ)  
優秀賞・滋賀県片山さん・田中さん・古川さん(滋賀大学経済学部グループ)、北海道根本さん・木南さん・荒井さん  
Honda賞・栃木県とまるんさん、滋賀県中塚さん・柴田さん(滋賀大学経済学部グループ)

●ポスターの部  
大賞・福岡県松江さん  
優秀賞・愛知県藤井さん、東京都奥本さん  
Honda賞・石川県加治さん

### NEWS REVIEW

#### 1 ●第45回全国白バイ安全運転競技大会 全国の白バイ隊員が高度な安全運転技術を競う



10月11日、12日の両日、自動車安全運転センター安全運転中央研修所(茨城県ひたちなか市)にて第45回全国白バイ安全運転競技大会(主催:警察庁)が開催された。この大会は、全国の白バイ隊員の安全運転技術の向上、士気の高揚及び隊員相互の融和団結を図ることを目的として、昭和44年より実施されている。今年は、43都道府県警察及び皇宮警察から、女性隊員38名を含む178名の選手が参加。バランス走行操縦競技、トライアル走行操縦競技、不整地走行操縦(モトクロス)競技、傾斜走行操縦(スラローム)競技の計4種目によって熱戦が繰り広げられ、2日間で約4940人が観戦した。主な結果は以下の通り。

●団体の部  
(第1部・9都府県警察) 優勝/愛知県、第2位/警視庁、第3位/千葉県  
(第2部・35道府県警察等) 優勝/群馬県、第2位/熊本県、第3位/山口県

●個人競技の部  
(男性の部) 優勝/木村幸司(埼玉県)  
(女性の部) 優勝/小森谷友美(埼玉県)

#### 2 ●(公財)交通事故総合分析センター 交通事故例調査をもとにした調査・分析研究を発表

10月17日、JA共済ビルカンファレンスホール(東京都千代田区)にて(公財)交通事故総合分析センター主催の「第17回交通事故・調査分析研究発表会」が開催された。この研究発表会は、同センターが行った交通事故に関する各種調査・分析研究の成果を交通安全対策に活用してもらうことを目的に毎年行われている。今年は同センターによる交通事故例調査をもとにした以下の5つの発表があった。

- 1) 交通事故例の報告—交通事故調査の現場から—
- 2) 四輪乗車中の子供の交通事故例の分析
- 3) 熟年高齢運転者の車両単独事故—代表的事例と今後の指針—
- 4) 事故発生場所情報を使った事故分析
- 5) 交通事故が多発する箇所の特徴と事故事例

※発表の詳細については以下のホームページを参照。  
<http://www.itarda.or.jp/ws/>

